

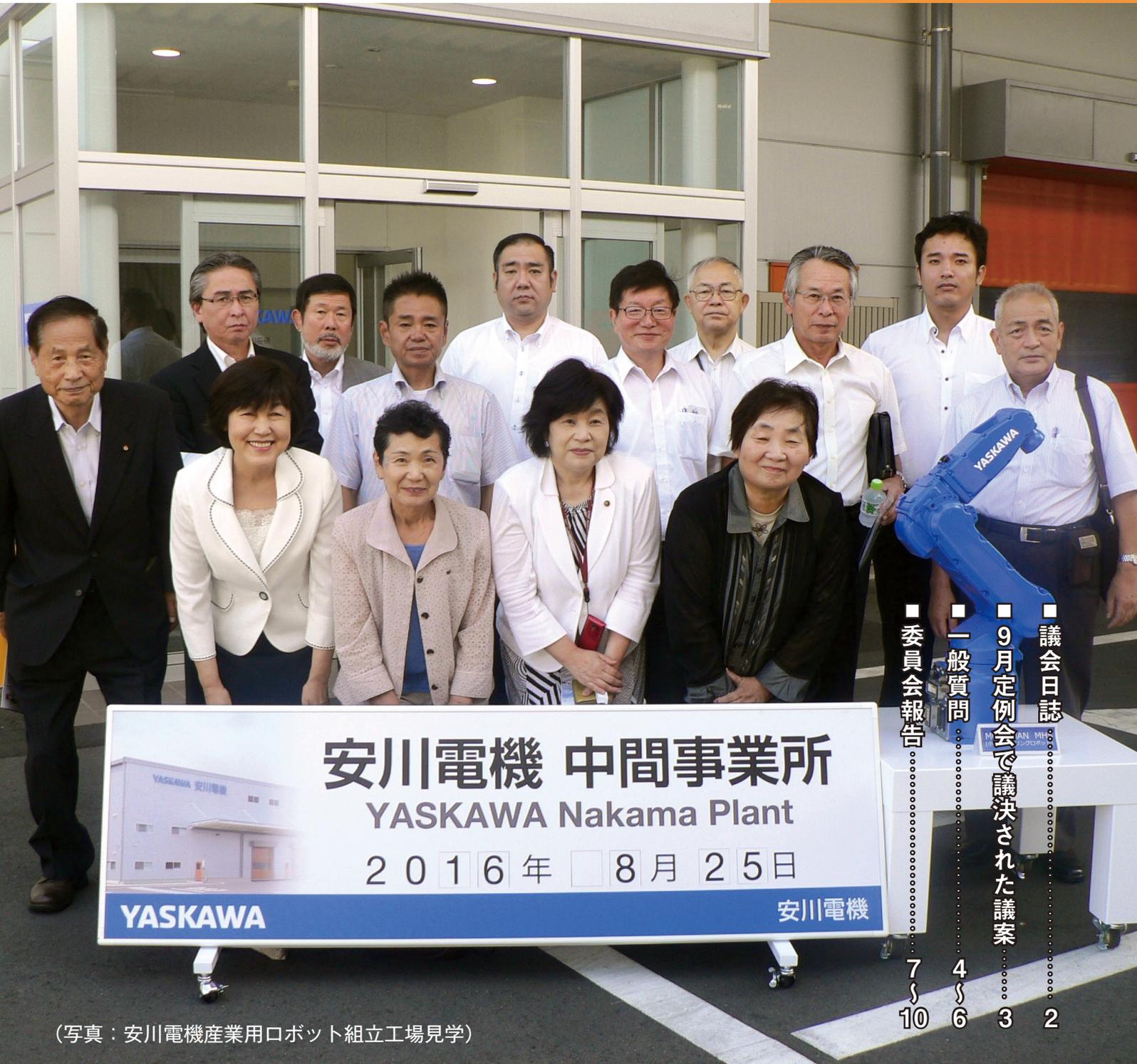
# 市議会だより ななかま

No.160

Shigikaidayori NAKAMA

2016.11.10

<http://www.city.nakama.lg.jp>



**安川電機 中間事業所**  
YASKAWA Nakama Plant  
2016年 8月 25日  
YASKAWA 安川電機

- 議会日誌 ..... 2
- 9月定例会で議決された議案 ..... 3
- 一般質問 ..... 4
- 委員会報告 ..... 7

(写真：安川電機産業用ロボット組立工場見学)

2016  
8月

- 8.1～3 中間市行橋市競艇組合議会行政視察（福井県坂井市）
- 8.4 中間北中学校議場見学
- 8.8 中間南中学校議場見学／平成28年熊本地震への派遣職員報告会
- 8.17 中間市行橋市競艇組合議会臨時会
- 8.25 安川電機産業用ロボット組立工場見学

2016  
9月

- 9.1 代表者会議／議会運営委員会
- 9.6～29 平成28年第3回中間市議会定例会
- 9.6 本会議
- 9.8 本会議
- 9.12 総合政策委員会
- 9.13 市民厚生委員会
- 9.14 産業消防委員会
- 9.16 総合政策委員会
- 9.20 市民厚生委員会
- 9.21 産業消防委員会
- 9.26 総合政策委員会／市民厚生委員会／産業消防委員会  
代表者会議／議会運営委員会
- 9.29 本会議／議会運営委員会
- 9.30 底井野校区コミュニティバス「なかよし号」出発式



底井野校区コミュニティバス「なかよし号」出発式

2016  
10月

- 10.7 新鮮市場さくら館開店行事  
福岡県北部市議会議長・副議長会（北九州市小倉北区）
- 10.9 なかまスポーツフェスタ2016
- 10.11 地域安全運動芦屋大会（遠賀郡芦屋町）
- 10.18 福岡県市議会議長会（うきは市）
- 10.19～21 産業消防委員会行政視察（岡山県総社市・兵庫県芦屋市）
- 10.19 群馬県藤岡市議会行政視察来市
- 10.23 「緑の日」記念植樹祭
- 10.25～27 市民厚生委員会行政視察（新潟県糸魚川市・新潟県南魚沼市）
- 10.25 群馬県藤岡市議会行政視察来市
- 10.26 戦没者追悼式
- 10.27 中間市行橋市競艇組合議会本会議
- 10.28 議会運営委員会・編集委員会

## 9月定例会で議決された議案

市長提出議案		
議案番号	件名	議決結果
承認第8号	専決処分を報告し、承認を求めることについて(損害賠償の額を定め、和解することについて)	承認
認定第1号	平成27年度中間市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第2号	平成27年度中間市特別会計国民健康保険事業歳入歳出決算認定について	認定
認定第3号	平成27年度中間市住宅新築資金等特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第4号	平成27年度中間市地域下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第5号	平成27年度中間市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第6号	平成27年度中間市公共用地先行取得特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第7号	平成27年度中間市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第8号	平成27年度中間市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第9号	平成27年度中間市水道事業会計利益の処分及び決算認定について	原案可決 及び認定
認定第10号	平成27年度中間市病院事業会計決算認定について	認定
第41号議案	平成28年度中間市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
第42号議案	平成28年度中間市特別会計国民健康保険事業補正予算(第2号)	原案可決
第43号議案	平成28年度中間市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第44号議案	中間市ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第45号議案	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決
第46号議案	中間市道路線の廃止について	原案可決
第47号議案	北九州市道路線の認定の承諾について	原案可決
議員提出議案		
議案番号	件名	議決結果
意見書案第13号	チーム学校推進法の早期制定を求める意見書	原案可決
意見書案第14号	返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書	原案可決
意見書案第15号	年金の適正な運用を求める意見書	原案可決
意見書案第16号	核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書	原案可決
意見書案第17号	沖縄県東村高江へのヘリパッド建設中止および安倍政権による沖縄県への違法確認訴訟撤回を求める意見書	原案可決

佐々木晴一議員  
(明政クラブ)

北九州市との合併について

北九州市との合併が破談になってから11年が経ちました。私は今こそ合併をもう一度展開する時期だと思いい、1万名を目標に署名を集める考えです。

1万名の署名を得ることができたならば、これを中間市民の民意と認め、合併運動の先頭に市長が立つてもらえますか。

**市長** 合併問題は両市の議決案件であるため、中間市議会の絶対的な意思統一が必要だと思えます。

また、合併特例債も現在はなくなっており、北九州市議会には本市との合併に対する大義がないという状況と考えています。北九州市議会議員等との話でも、前向きな返事はもら



隣保館跡地

っていないというのが現状です。

**議員** 署名が集まり民意がはつきりとしたならば、先頭に立つ気持ちはありませんか。

**市長** 多くの市民が合併を望むという結果が出れば、しっかりと受け止め、北九州市長に伝えたいと思っています。

隣保館跡地利用について

28年度予算に基づき、今隣保館跡地は重機が入り整備がされています。この市有地を整備する目的を教えてください。

**建設産業部長**

近隣住民の住環境に支障を与える状況があるの

で、整備を行っています。

**議員** もともとは市立病院の移転候補地として準備していると聞いていましたが。

**市長** 市立病院の移転用地ということも考えていますが、幹線道路に面した一等地ですので、その使い道については、様々な意見を聞きながら決定していきたいと考えています。

**議員** 平成24年1月に市長は市立病院を建て替えると明言しましたが、今でもそう考えていますか。

**市長** 市立病院は築38年が経過して建物全体の老朽化や設備の更新、耐震化の問題もあり、建て替えは喫緊の課題と捉えています。28年度中に調整される県の地域医療構想を注視しながら、市立病院のあり方を検討していきたいと思っています。

パソコンやスマートフォンで市議会が視聴できます。

市議会では、市民の皆さんがご自宅等で、いつでも議会の様子をご覧になれるよう、インターネットを利用した、「議会録画中継」の配信を行っています。

中間市のホームページから

中間市議会 をクリックして、



議会録画中継 YouTube をクリックすると、

概ね1年以内の本会議及び議場で行われた会議がご覧になれます。なお、YouTube上で配信している録画中継の映像及び音声等は、中間市議会の公式記録ではありません。公式記録については、会議録をご覧ください。



**田口澄雄議員**  
(日本共産党)

**国民健康保険税の引き上げについて**

国民健康保険制度は、30年度から県単位の制度として出発します。本市では昨年度、1人当たり5千円の値上げが実施されましたが、ことしの国民健康保険運営協議会に対し、総額4千万円にも上る新たな再引き上げ案が市長から提案されていますが。

**市長** 国民健康保険運営協議会から毎年税率・税額の見直しを検討してよいという答申が出されているので、それを尊重しながら行っています。

**議員** 27年度は1億8千万円の赤字ということですが、その主な原因は何ですか。

**健康増進課長** C型肝炎の高額な新薬が保険適用されたことによる調剤費等の増加

です。

**議員** 今回の値上げは平成26年の答申を受けてのことだと思いますが、28年度も赤字が出るかと考えているのですか。

**保健福祉部長**

答申の内容は、1点目は改定に伴う税率・税額が示され、2点目は値上げをしてもなお不足する部分は法定外繰入れを行うこと、3点目は県単位化されるまでの年度において前年度決算の状況を踏まえ税率・税額の見直しをするということとなっています。

この答申の3点目に従い、本市の財政状況、27年度の決算状況等を踏まえ、今回、運営協議会に検討をお願いしました。

**議員** 21年度以降、国保は毎年赤字だったのですか。

**健康増進課長** 21年度及び24年度は黒字でしたが、それ以外の年は赤字です。なお、

単年度決算を平均すると、約1億1千万円の赤字です。

**議員**

水巻町が毎年約1億円繰入れているので、本市が水巻並みにするとすれば1・5億円くらい繰入れするのが当たり前です。単年度赤字がでたら、また値上げをするのですか。

**保健福祉部長** 平成26年の答申に従い、運営協議会に検討をお願いしています。

**議員** 来年度は3年に1度の介護保険料の見直しと重なります。国保の値上げまで一緒に迫る必要はないのではと思いますが。

**市長** そうしないと国保制度が破綻してしまふ恐れがあるので値上げをしています。その代わりに昨年度1億8千万円、今回も3億円の繰入れをして、12億の累積赤字を減らしていくため、答申に従い誠実に履行しています。

**青木孝子議員**  
(日本共産党)

**暴力追放問題について**

青少年の健全育成、安全安心なまちづくりは、中鶴地域の住環境整備が不可欠です。市・県の公営住宅の建て替えなどが進められています。現在の進捗状況と暴力団事務所の撤去について伺います。

**建設産業部長** 県営住宅については、今年度2棟の解体工事に着手する予定です。市営住宅のうち暴力団事務所等の買収については、今年度中の契約を目指したいと考えています。

また、市営駐車場跡地に改良住宅を一期工事として計画しており、来年度より調査費等を計上して、従来手法で建て替える予定です。残りの整備事業についてはPFI事業手法による整備を検討します。

**議員** 買収の補償金が不当な金額になってはいけないと思いますが、その算定方法を伺います。

**建設産業部長**

土地は専門家である不動産鑑定士が、買収事例価格や公示価格等を考慮して算定します。家屋補償費については、公共用地の取得に伴う損失補償基準に基づき算出しています。

**議員** 暴力団排除を遂行するには暴力追放市民集会の継続が不可欠です。今後の計画や方針を伺います。

**総務部長** 暴力団事務所の有無にかかわらず、安全安心なまちづくりを更に推進するために、継続してやっていく考えです。

**議員** 市内に警察署を設置することが求められるのでは。

**総務部長** 警察署新設について県から期待する回答は得られていませんが、今後

**就学援助制度について**

子どもが社会問題になる中、子どもの教育を支える大きな役割を果たしているのが就学援助制度です。

本市では就学援助の適用基準は生活保護基準の1・25倍ですが、これを1・3倍まで引き上げることとはできませんか。

**教育長** 今年度の準要保護の申請者の認定率は99・1%となっていますので、このまま維持していきたいと考えています。

**議員** 北九州市や福岡市にしろ、入学準備金を入学前3月に支給できませんか。

**教育長** 近隣の市町村の状況等を鑑みながら、今後検討していきたいと思えます。

草場満彦議員  
(公明党)

交通会議について

法定協議会である交通会議の協議内容を伺います。

**総合政策部長** これまでの協議内容としては、今後5年間の公共交通の展開方策等を取りまとめた地域公共交通網形成計画を策定しました。

まず、高低差による交通不便地であった南校区において、自治会の総意により提出された要望書に基づき、昨年10月からフレンドリー号の運行を開始しました。また、地域の大部分が交通空白地である底井野校区においても、提出された要望書に基づき本年10月からの運行に向け準備を進めています。

**議員** 今運行しているところについて、財政的な補填や補助金はあるのですか。

総合政策部長 南校区

コミュニティバスは、既存のタクシー車両を利用し、午前4便、午後4便と日曜の買い物、通院を目的とした移動手段です。

運行経費から運行収入を差し引いた市の補填額は107万5201円で、国から2分の1の補助があります。

空き家バンクについて

空き家バンクに対する本市の取り組みを紹介してください。

住宅都市交通対策課長

この制度は所有者からの申し出により登録された建物や土地の情報を広い範囲に周知し、空き家の解消を目的とする制度で、これまでホームページでの物件紹介や住宅フェアの開催等を行ってきました。

不動産協会との官民協働の取り組みの結果、27年度の登録件数が全国1位となっています。

総合政策部長

り、本年3月までに25物件が成約されるなど、空き家の減少移住定住促進につながっています。

また、中古住宅購入補助やリフォーム補助、高齢世帯の住みかえ補助金制度等も実施しています。

世界遺産の取り組みについて

遠賀川水源地ポンプ室が世界遺産に登録されて1年以上が過ぎました。見学者数を伺います。

世界遺産推進室長

7月現在で1万1千人が訪れています。また、地域交流センターには3万7千人が訪れています。

**議員** ウェルカム看板となかったば像の周りが全く変わっていないが、休憩所や出店などの取り組みは何か検討していますか。

**総合政策部長** 季節的な建物などを検討しています。

市議会会議録は閲覧ができます。



市議会会議録

市議会だよりは、本会議の質問や答弁を要約して掲載していますので、詳しい内容は、会議録をご覧ください。会議録は、議会事務局や情報公開コーナー、市民図書館で閲覧することができます。また、中間市のホームページにも会議録を掲載しています。

議会の生中継を公共施設で行っています。



議会の生中継

議会が中継される施設

ハピネスなかま、中央公民館、なかまハーモニーホール、地域交流センター、市立病院  
※議会開催日が休館の施設では、中継は行っていません。  
※市立病院での視聴は、病院利用者以外の方はご遠慮ください。

次の定例会は、11月29日(火)から開催します。



次の定例会

議員の一般質問は12月1日(木)午前10時から行います。  
本会議及び委員会の日程は決まり次第、中間市のホームページに掲載します。

問合せ：議会事務局 ☎246-6220 <http://www.city.nakama.lg.jp>

# 委員会報告

9月定例会で各常任委員長が報告した審査内容の一部を掲載します。

## 総合政策委員会

### 〔決算認定〕

#### 一般会計

歳入歳出差引額は、4億420万円の黒字決算となっております。また、形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を除いた実質収支についても3億9090万円の黒字、単年度収支は4920万円の赤字となっております。

歳入に関しては、地方交付税の収入済額は54億8740万円、前年度と比較して3030万円、率にして0・5%の減額となっております。地方交付税を補完している臨時財政対策債の借入額は6億1220万円、前年度と比較して5840万円、率にして8・7%の減額となっております。また市債の借入額は12億4720万円、第三セクター等改革推進債及び防災対策事業債等の借入れがあった前

年度と比較すると4億6990万円、率にして27・4%の減額となっております。一方、平成26年4月からの消費税率引き上げの影響の通年化により、地方消費税交付金の収入済額は7億7110万円で、前年度と比較して3億3230万円、率にして75・8%の増額となっております。また、地方創生に関する国庫補助金として、地域住民生活等緊急支援のための交付金の上乗せ交付分3千万円を収入しています。

歳出に関しては、人事院勧告に準じ期末勤勉手当の支給率を引き上げたことから、人件費は前年度と比較して770万円の増額となっております。また、地方債残高の減少に伴い、公債費は前年度と比較して6140万円の減額となっております。

平成27年度末における一般会計の基金残高は、前年度から1億8510万円減額して

33億6100万円となっております。7年ぶりの基金減少となっております。一方、平成27年度末における地方債残高は、前年度から6億2420万円減額して143億2330万円となっております。11年連続の減少となっております。

最後に、主な財政指標ですが、資金繰りの危険度を示す実質公債費比率は前年度から0・5ポイント改善して14・5%に、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す将来負担比率は17・9ポイント改善して71・6%に、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は0・9ポイント悪化して95・6%となっております。

討論において、委員から「職員同士の和を壊すような人事評価制度や、新規採用職員の自衛隊派遣研修、学校給食の民間委託は即刻中止することを目指す」「元来の税の趣旨にそぐわないふるさと納税制度については、国に反対意見を述べるよう求める」との意見がありました。

賛成多数で認定しました。

### 公共用地先行取得特別会計

平成27年度も新たな用地の取得はなく、歳入歳出それぞれ660万円の決算となっております。これにより、平成17年度に借り入れた地方債の償還は完了となりました。

整基金繰入金が3億円、屋島の公園の遊具整備事業及び中鶴地区の公営住宅建替事業に係る建設事業債が1億1100万円それぞれ増額されているほか、諸収入において中間市PR用ポロシャツの売払収入が130万円、県補助金においてボランティア人材育成講座支援事業補助金が20万円それぞれ追加されています。



中間市PR用ポロシャツ

次に、歳出の主なものは、総務費において、遠賀川水源地ポンプ室前の眺望スペースに設置する解説案内板と世界遺産登録記念銘にそれぞれ250万円が追加されています。

民生費においては、累積赤字を抱える特別会計国民健康保険事業への財政支援として、基準外を含む繰出金3億140万円が増額されており、商工費においては、中間市PR用ポロシャツ製作委託料に100万円が追加されています。

今回の補正予算は、特別会計国民健康保険事業の累積赤字の解消を目的とした法定外繰入金を増額計上するものが主な内容となっており、歳入歳出それぞれ5億4010万円を追加し、予算の総額を184億8650万円とするものです。

まず、歳入の主なものとしては、繰入金において財政調

また、教育費においては、中央公民館が本年11月から予定している日曜日開館に伴い必要となる講師謝礼や光熱水費、警備委託料が合計50万円、日本体育大学によるオリシナ

ル体操DVDの購入費に30万円がそれぞれ追加されています。

全員賛成で可決しました。



中央公民館

減収となったことによるものです。

次に歳出について、総務費では、固定資産税課税システム修正等委託料1010万円、戸籍情報システムサポート等委託料1220万円で

民生費の決算額は、85億5230万円で、前年度より9560万円の増額となっています。

各項目別では、まず社会福祉費40億1880万円の主なものは、特別会計国民健康保険事業繰入金6億8160万円、職員人件費2億920万円、後期高齢者医療制度給付費負担金6億3300万円、

介護保険事業特別会計繰出金6億8690万円で、

次に、児童福祉費19億940万円の主なものは、児童福祉施設入所扶助費6億4000万円、児童手当、児童扶養手当9億4100万円で

次に、生活保護費25億6400万円の主なものは、扶助費24億1490万円で、

次に、衛生費のうち予防費1億7710万円の主なものは、

各種予防接種委託料9540万円、健康診査等の各種健診等委託料4990万円で

は、各種予防接種委託料9540万円、健康診査等の各種健診等委託料4990万円で

討論において、委員から「生活扶助基準が引き下げられているが、このことで住民税非課税の範囲等も変わり、保育料、介護保険料等へ影響することから、反対する。また、

特定の地区で解放学級や中学生勉強会などが実施されているが、国の同和对策事業はすでに終結していることから、

全ての地区で実施すべきである」などの意見がありました。

賛成多数で認定しました。

特別会計国民健康保険事業

歳入決算額は68億2500万円、歳出決算額は80億6640万円で、歳入歳出差引額は12億4130万円の赤字となっていますが、単年度決算においては1億8500万円の法定外繰入を行ったことにより、520万円の黒字決算となっています。

歳入の主なものは、国民健康保険税9億4550万円、国庫支出金15億3450万円、前期高齢者交付金15億4

620万円、共同事業交付金14億6990万円、繰入金6億8160万円です。

このうち保険税の収入状況は、現年度分の徴収率が92.9%で、収入未済額は6660万円です。

歳出の主なものは、保険給付費41億1870万円、後期高齢者支援金等6億8600万円です。

討論において、委員から「国の加入者は、年金生活者、非正規労働者等の低所得者が多いことから、国庫負担を以て前のように増額すべきである」という意見がありました。

賛成多数で認定しました。

介護保険事業特別会計

歳入決算額は47億5100万円、歳出決算額は46億3050万円で、歳入歳出差引額は1億2040万円の黒字です。

歳入の主なものは、介護保険料9億7920万円、国庫支出金11億2650万円、支払基金交付金12億3230万円、県支出金6億6010万円、繰入金6億8690万円です。

## 市民厚生委員会

### 〔決算認定〕

#### 一般会計

歳入については、市税収入決算額は39億6630万円で、前年度より190万円の減収となっています。その主な要因として、個人市民税、法人市民税は、景気回復の影響等により計3730万円の増収となりましたが、固定資産税及び都市計画税が、地価下落の影響等により市民税の増収を超える4030万円の

歳出の主なものは、保険給付費43億3250万円です。前年度に比べ、保険給付費が5110万円増加した要因は、高齢化の進展による認定者数の増加及び各種介護サービス利用者が増加したことによるものです。

また、サービス事業勘定では、前年度繰越金を含め、歳入決算額は5260万円、歳入歳出差引額600万円の黒字です。

討論において、委員から「要支援1・2の方の通所介護、訪問介護を、専門知識等を持たない無資格者が行うことには反対である」などの意見がありました。

賛成多数で認定しました。



なかまスポーツフェスタ2016

## 後期高齢者医療特別会計

歳入決算額は7億4940万円、歳出決算額は7億3120万円で、歳入歳出差引額1820万円の黒字です。

歳入の主なものは、後期高

齢者医療保険料5億5550万円、繰入金1億7680万円です。

歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金7億2880万円です。

黒字となった要因は、出納整理期間に納付された保険料を、福岡県後期高齢者医療広域連合が平成28年度会計で受け入れるためです。

討論において、委員から「後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者を健康保険や国民健康保険から切り離して別枠とした医療制度である。年齢差別の医療制度は廃止し、以前の老人保健制度へ戻すべきである」などの意見がありました。

賛成多数で認定しました。

## 【補正予算】 一般会計

歳出については、総務費の戸籍住民基本台帳費では、産

前産後休暇を取得する職員の

代替臨時職員の賃金等として110万円、個人番号カード等交付事務に要する経費として620万円が計上されています。

民生費においては、老人福祉に要する経費として、スプリンクラー設置事業への補助金360万円、介護ロボット導入事業への補助金310万円が計上されています。

衛生費においては、各種予防接種に要する経費として、生後1歳未満の乳児を対象としたB型肝炎ワクチンの定期接種に伴う委託料320万円が計上されています。

歳入については、総務費国庫補助金では、個人番号カード交付事業費補助金として620万円が計上されています。民生費においては、民間の介護事業所への支援事業に対する国庫補助金計670万円が計上されています。

討論において、委員から「マインバー制度導入により、プライバシーの侵害、なりすましによる犯罪の常態化等が危惧されることから、反対する」などの意見がありました。

賛成多数で可決しました。

## 特別会計国民健康保険事業

歳出については、平成30年度の国民健康保険広域化に伴うシステム改修委託料として

430万円、平成27年度の療養給付費等交付金確定に伴う償還金利子及び割引料として1840万円が追加計上されています。

歳入については、国庫補助金280万円、一般会計繰入金のうち職員給与費等繰入金140万円、累積赤字の削減を目的とした法定外の保険税及び医療費支援繰入金3億円が追加されています。また、歳入欠かん補填収入が2億8150万円減額されています。

以上により、歳入歳出それぞれ2276万円が追加され、予算の総額を81億7677万円とするものです。

討論において、委員から「累積赤字12億円の解消を目的として、一般会計から3億円の繰入を行ったが、これからの国民健康保険加入者に累積赤字を負担させないよう、今後でも累積赤字解消に努めるべきである」との意見がありました。

た。

全員賛成で可決しました。

## 産業消防委員会

### 【決算認定】

#### 一般会計

衛生費では、遠賀・中間地域広域行政事務組合として1市4町で共同処理を行っている火葬場施設、し尿処理及びごみ処理施設等の負担金として6億5340万円が支出されています。

労働費では、引き続き国の緊急雇用創出事業等を活用するとともに、市内中小企業者への指導事業等補助金に100万円が支出されています。



消防団第五分団格納庫

農林水産業費では、農地費として、中底井野（寺田）水路改良工事等に2千万円が支出されています。

商工費では、地域経済の活性化対策として毎年行っているプレミアム付商品券を平成27年度は遠賀川水源地ポンプ室の世界遺産登録記念とし、プレミアム率を20%に引き上げるとともに、前年度に比べ1万1400冊増冊し、計2万9千冊が販売されており、その経費として4590万円が支出されています。また、筑前なかま祭り実行委員会への補助金として1250万円が支出されています。

土木費では、道路橋りょう費において、御座ノ瀬・中ノ谷線パイパス道路新設工事はじめとする道路新設工事19件の工事請負費として1億3390万円、橋りょう改修工事実施設計業務委託等の委託費として5450万円、市内道路及び側溝の修繕料等の需用費として4010万円が支出されています。

都市計画費においては、仮家大膳橋線街路事業負担金等6件で2270万円が支出さ

れています。

また、住宅費においては、公営住宅等整備手法評価検討業務委託料に380万円が支出されています。

消防費では、消防施設費として扇ヶ浦地区の耐震性貯水槽設置工事に930万円、川西地区の第五分団格納庫改修工事に240万円が支出されており、消防防災活動の拠点整備が図られています。

討論において委員から、「御座ノ瀬・中ノ谷線バイパスができることは、中間市全体にとってプラスであると思うが、今の時期にする必要があるのか、医療費や社会保障に向けてのべきではないか」との意見がありました。

賛成多数で認定しました。

### 水道事業会計

利益の処分では、当年度未処分利益剰余金2億3500万円のうち、利益積立金へ7300万円を積み立て、残余1億6100万円を繰り越すものです。

次に、決算において、収益的収支では、7060万円の純利益となっています。

また、資本的収支では3億8200万円の不足を生じましたが、当年度分損益勘定留保資金等で全額補てんされています。

給水状況については、給水戸数は2万8521戸で、前年度より132戸の増加となっていますが、給水人口は、前年度より370人減少しています。

工事の状況については、県道中間・水巻線配水管布設替工事、唐戸浄水場沈澱池傾斜管設置工事などの改良工事22件、公道修繕工事などの保存工事646件、下水道工事に伴う配水管移設工事などの受託工事5件が行われています。

討論において委員から、「浄水場は民間に委託している部分があるが、非正規雇用を生んでいることになるのでふさわしくないのでは」との意見がありました。

賛成多数で可決及び認定しました。

### 【補正予算】

#### 一般会計

歳出の主なものは、衛生費

では衛生事務に関する経費として、臨時職員社会保険料と臨時職員賃金併せて70万円、また環境基本計画推進に要する経費として地球温暖化対策実行計画策定業務委託料830万円が計上されています。

農林水産業費では、女性農業者への支援として新商品開発事業への補助金10万円、農業の担い手が経営規模の拡大や経営の多角化に取り組みために整備する農業用機械の購入に対する補助金60万円が計上されています。また、農業土木に要する経費として、水路改良工事等に630万円が計上されています。

商工費では、熊本地震被災地復興支援を目的とした、筑前中間やっちゃれ祭のイベントに対する補助事業に70万円が計上されています。

土木費では公園費において、子どもたちが安全で快適に利用できるように、屋島公園の複合遊具及びロープウェイの改修事業に2千万円が計上されています。

また、中鶴地区の公営住宅建替事業に関する費用とし



屋島公園

て、既存住宅の解体工事、事業用地購入費等合計1億6490万円が計上されています。消防費では常備消防に要する経費として、平成29年度4月に消防学校入校予定の新規採用職員2名分の被服貸与品購入費用として110万円が計上されています。

全員賛成で可決しました。

## 人事紹介

### 堀川水利組合議会議員

《敬称略》

下川 俊秀  
栗田 義明  
吉田 光代



# 新築・増改築・不動産のことなら

# ハヤシへ!

## 株式会社 ハヤシ

本社  
〒809-0032  
中間市中尾2丁目14-14

# TEL (093) 244-3355

有料広告欄